



フクトピア児童センター

大井総合支所複合施設内の新児童センター

問 伊藤初 中高生の利用や職員配置は。

答 中高生の居場所として、学習場所の提供やパソコンの活用を整備したい。発達段階における年齢別事業の充実を図るには専門職員の配置は必要なので、調整します。

市の資料館に関して

問 小林 地域の歴史や文化を伝承し、地域への愛着や矜持を醸成する上で欠かせない施設だと思うが、今後の取り組みについては。



資料館の展示物

答 地場産業の技術や郷土芸能をビデオ化し、昔ながらの遊びを小学生に伝承しています。市民の方々と協働し、見える資料館活動を展開していきたい。

住居表示について

問 西 住居表示未実施地域の中で、苗間第二地区内みほの地域の整備の考え方は。

答 大井・苗間第二地区を含めた一体的な住居表示が望ましいのですが、状況により、みほの及び桔梗地区を対象とした実施方法もあわせて検討していきます。

空き家管理は自治会との連携強化を

問 塚越 市内で増え続ける空き家管理問題について、今年度から条例は施行されたが、実態把握は。町会や自治会との連携も強めるべきでは。

答 全体は把握されていないですが、実態調査をして年度内には把握します。連携は強めたい。

上福岡駅東口無料駐車スペース

問 小林 無料駐車スペースと違反車対策については。



おおい祭り

福岡高校の土地・建物の活用について

ありました。土地利用計画の見直しを含め、指導していきます。

問 足立 平成二十五年度に移転・統合となる福岡高校の土地・建物の活用について、住民の声を生かしては。

おおい祭り、上福岡七夕まつりについて

問 島田 おおい祭りには三〇〇万円、上福岡七夕まつり



上福岡七夕まつり

市民生活

答 午前十時から午後五時まで無料駐車スペースを十七台分設けており、うち、高齢者車両等のスペースを四台分設けています。違反車は重い反則金が課せられる可能性があります。

西鶴ヶ岡地区NTT跡地開発計画は

問 伊藤初 開発が中断したままで、防犯上危険だが。

答 隣接マンションの販売状況などから、着工を当分見合わせるかと開発業者から報告が

原発ゼロに向けて

問 足立 市長の原発ゼロに対する見解は。

答 これまで国策で進められてきましたが、可能な限り依存度を下げるべきと考えます。

新河岸川緑地公園のサワガニの保全を

問 鈴木 県事業の「水辺の再生一〇〇プラン」で、新河岸川緑地公園周辺の整備が進

む。流域ではここだけに生息するサワガニを保護した上で、市民に親しめる場所にしてほしい。

答 県からも、湧き水やサワガニの生態に配慮した工事を行なう考えが示されています。整備後は、環境教育を行なう場としても、観光エリアとしても可能性を考え、広く市民に活用していただけるように、市としても努力していきます。



新河岸川緑地公園



公園内に生息するサワガニ

防犯について

問 仙田 市内の犯罪被害の推移は。

答 平成二十二年の本市の刑法犯の認知件数は一、六七八件で、犯罪率は県内ワースト十一位(前年二十位)であり、依然として予断を許さない状況です。

問 市民の暮らしを守るために犯罪抑止は急務な課題であるが、そのための対応策は。

答 現在、犯罪発生情報の提供をメール配信で行なっていますが、今後は市内を巡回し

地域ブランド開発方策

問 山田 地域ブランドの発掘及び開発に取り組む方策については。

答 商店街活性化対策会議を立ち上げ、商工会・商店会・大学等と連携・協力し、地元資源を活用した地域ブランドの洗い出しに取り組んでいます。地域商業の活性化を進めていきたい。

JAの身近な直売所確保

問 足立 JAいるま野福岡支店の直売所は大井支店に一本化する中で、消費者や生産者に身近な場所での直売所確保を市の計画に入れては。

答 本庁舎一階で、月一回程度を予定しています。



JAの直売所

再生可能エネルギーに関して

問 小林 震災以降、「防災」「節電」と相まって、スマートグリッドやスマートシティが着目され始めている。再生エネルギーの活用や補助を含めた取り組み等はあるか。

答 補助制度があるが、検討していきたい。

用語解説

※スマートグリッド：最新IT技術を活用して、電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化する次世代送電システム。

※スマートシティ：スマートグリッドなどの電力有効利用に加え、熱や未利用エネルギーの利用、地域の交通システム等を複合的に組み合わせる次世代エネルギー・社会システムの概念。